

	牧師 山本護	司式 辻りち子	奏楽 山本恵美
前 奏	黙想		祈 禱
讃美歌	20 主をほめよ、わがこころ		讃美歌 499 みたまよくだりて
祈 禱			献 金
信仰告白	使徒信条 566		讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書	詩編 143:10		黙 禱
	コリントの信徒への手紙二 4:16~18		主の祈り 564
讃美歌	291 主にまかせよ		讃 詠 545 父のみかみに
説 教	『外なる人、内なる人』		祝 禱 後 奏

先週の復活記述の焦点は、夕食時イエスからパンを受け取る(食べる)と「二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった(ルカ 24:31)」こと。キリスト御自身をパンとして食べ(22:19)、身体化(内在化)されるゆえ、視覚の認識を超越する。見ることよりも力強い一体化なのだろうが、古代ギリシアやアジア諸世界の底流にある「神秘的合一」の感覚といったいどこが違うのだろうか。

「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぐ。見えるものは過ぎ去るが、見えないものは永遠に存続するから(IIコリント 4:18)」。見えないものにどうやって「目を注ぐ」のか。見えない「そこ」に一点集中する、といった意味あいだろう。それでは、見えるものとは何か、見えないものとは何か。見えるものは「外なる人」、見えないものは「内なる人」。見えるものは衰え、見えないものは日々新たにされていく(4:16)。これが、キリスト者が生きていく現実だ。観念の類ではない。

見えるものは「土の器(4:7)」。この土の器に見えないものが納められている。あの二人の弟子が、イエスを認知したがゆえに見えなくなった気づき(ルカ 24:31)、心に燃えていた何か(24:32)。すなわち「心の内に輝いて、イエス・キリストの御顔に輝く神の栄光を悟る光(IIコリント 4:6)」、「この並外れて偉大な力(4:7)」が土の器(二人の弟子)に納められた。自覚せずとも、「内なる人」にそれが生じる。

私たちの「内なる人」は知っている。「主イエスを復活させた神が、イエスと共にわたしたちをも復活させてくださる(4:14)」ことを。「だから、わたしたちは落胆しない(4:16)」。と言うことは、背後に「四方から苦しめられ、途方に暮れ、虐げられ、打ち倒されている(4:8~9)」落胆状況がある。そうした状況を「一時の軽い艱難(4:17)」と語り、瘦せ我慢ではなく、永遠の栄光に比べたら何でもない(4:17)のだと。「だから(dio)」とは強意、「それゆえに落胆などするはずがない」と読んでも大袈裟ではない。

とはいえ世の中や私たちの日常は、ほとんど「外なる人」で動いている。外なる人で評価され、賃金や地位が定められ、褒められたり批判されたりして、一喜一憂している。昔に比べて現代は、価値や美醜の基準がずっと多様になったけれども、細かく区分された各々の世間において「外なる人」で小粒に一喜一憂している。政治や文化や歴史が変遷しても、依然「見えるもの」に目を注いでいる。

使徒やガリラヤからの女たちは、小さな信仰共同体を形成した。だが弟子はそれだけに限らない。エマオ村に帰郷した二人の弟子(ルカ 24:13)から想像を拵けてみよう。法院議員のアリマタヤのヨセフや、律法学者のニコデモもいる(ヨハネ 19:38~39)。十字架に立ち会ったローマの百人隊長(マルコ 15:39)、徴税人や狂人や癒しを得た者、そして記録されていない数多の弟子や信奉者がいる。彼らは「自分の場」に帰された(5:18~19)。そこには使徒たちとは違う厳しさがあつたらう。既存の秩序の中「二人または三人(マタイ 18:20)」でキリストを頼りとするのだから。しかし彼らもまた「落胆などするはずがない」。

「御旨を行うすべを教えてください。あなたはわたしの神。恵み深いあなたの霊によって、安らかな地に導いてください(詩編 143:10)」。外なる人がいかに激しく揺れ動かされようが、内なる人は神の「安らかな地」。聖霊に吹かれて私たちは、愛と恵みの深さをこの身の「内なる人」に覚えるだろう。

見えるものは私の視覚に納まる 分るものは私の認識に納まる キリストは望遠鏡やコンピュータを使って知性百億人分に拵けても納まるまい 嵐の中で目を瞑り 耳を澄ませよ 静けさで出会う

本日 2:30~山梨分区総会(愛宕町教会)、青柳役員と牧師が出席。4/16の総会で新役員が選出されました。5/7の礼拝後に役員会。牧師の動き:5/2 分区教師会。5/4 都留市の光糧舎で聖書のおはなし。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。